

5 市町村廃置分合改称等の沿革

市町村廃置分合改称等の事項は昭和25年1月以降について示す。

市町村名	施行年月日	沿革
岐阜市	昭和25. 8. 20	黒野村、万泉村、茜部村、鶉村、市橋村、七郷村、西郷村を編入
	昭和25. 12. 10	岩村を編入
	昭和30. 2. 11	鏡島村、厚見村を編入
	昭和33. 4. 1	日置江村、芥見村を編入
	昭和34. 4. 1	合渡村を編入
	昭和36. 4. 1	三輪村を編入 { 31. 4. 1 春近村、山県村、巖美村(太郎丸、石原、福富)が合併 }
	昭和38. 4. 1	網代村を編入
	昭和44. 2. 1	本巣町大字外山の一部を編入
大垣市	昭和26. 2. 1	和合村を編入
	昭和27. 6. 1	三城村を編入
	昭和29. 10. 1	荒崎村(大字綾戸を除く)を編入
	昭和34. 4. 1	赤坂町(池尻)の一部を編入
	昭和42. 9. 1	赤坂町を編入
高山市	昭和30. 4. 1	大八賀村を編入
多治見市	昭和26. 3. 5	市之倉村を編入
	昭和26. 4. 1	笠原町を編入
	昭和27. 4. 1	一部の区域(笠原町の区域、滝呂地区を除く)が笠原村を分立した
	昭和35. 4. 1	姫治村のうち大字大藪、大針、北小木、下切(国京、白山)を編入
関市	昭和25. 8. 10	千疋村を編入
	昭和25. 10. 15	田原村を編入、市制を施行
	昭和26. 3. 20	下有知村を編入
	昭和29. 9. 10	富野村を編入
	昭和30. 1. 10	小金田村を編入
	昭和30. 7. 10	美濃市の一部(東志摩)を編入
昭和31. 9. 29	南武芸村字広見の一部を編入	
中津川市	昭和26. 4. 1	中津町、苗木町が合併、中津川町を設置
	昭和27. 4. 1	市制を施行
	昭和29. 7. 10	坂本村を編入
	昭和31. 9. 30	落合村を編入
	昭和32. 11. 1	阿木村を編入
昭和33. 10. 15	長野県西筑摩郡神坂村の一部を編入	
美濃市	昭和29. 4. 1	美濃町、洲原村、下牧村、上牧村、中有知村、藍見村、大矢田村が合併、美濃市を設置
	昭和30. 7. 1	関市のうち大字小野字カシガ洞、西首船、花之木、奥之田、神明洞、長洞、東首船、長洞前、荒神洞、田之洞、西之洞、西之洞口、姥洞を編入
瑞浪市	昭和26. 4. 1	瑞浪町、土岐町が合併、瑞浪土岐町を設置
	昭和29. 4. 1	瑞浪土岐町、稲津村、釜戸村、大秋村、日吉村、明世村(月吉、山之内、戸狩)駒町が合併、瑞浪市を設置
羽島市	昭和29. 4. 1	竹ヶ鼻町、足近村、小熊村、正木村、福寿村、江吉良村、堀津村、上中島村、下中島村、桑原村が合併、羽島市を設置
恵那市	昭和29. 4. 1	大井町、長島町、東野村、三郷村、武並村、笠置村、中野方村、飯地村が合併、恵那市を設置
美濃加茂市	昭和29. 4. 1	太田町(25. 8. 10 坂祝村深田を編入)、古井町、山之上村、蜂屋村、加茂野村、伊深村下米田村、三和村、(大字甘屋、川浦)、和知村大字牧野が合併、美濃加茂市を設置
土岐市	昭和30. 2. 1	土岐津町、妻木町、下石町、鶴里村、曾木村、駄知町、肥田町、泉町(29. 4. 1 明世村大字河合を編入)が合併、土岐市を設置
各務原市	昭和38. 4. 1	那加町、稲羽町、鶴沼町、蘇原町が合併、各務原市を設置

5 市町村廃置分合改称等の沿革(つづき)

市町村名	施行年月日	沿革
笠松町	昭和25. 8. 1	笠松町、松枝村が合併、笠松町を設置
	昭和30. 4. 1	笠松町、下羽栗村が合併、笠松町を設置
	昭和48. 4. 1	柳津町字大深沼、河原、竹の裾、北沼、十三塚、井ノ戸、石川の一部を編入
柳津町	昭和31. 9. 26	柳津村、佐波村が合併、柳津町を設置
	昭和48. 4. 1	笠松町大字門間の一部を編入
岐南町	昭和31. 9. 26	八剣村、上羽栗村が合併、岐南町を設置
	昭和31. 10. 1	町制を施行
川島町	昭和31. 10. 1	町制を施行
海津町	昭和30. 1. 15	高須町、吉里村、東江村、大江村、西江村が合併、海津町を設置
	昭和30. 2. 1	今尾町大字平原を編入
	昭和41. 12. 2	平田町大字脇野を編入
平田町	昭和30. 2. 1	海西村、今尾町(今尾、土倉、脇野、西島、高田、三郷、仏師川)が合併、平田町を設置
南濃町	昭和29. 11. 3	池辺村のうち駒野新田、釜段字徳島を城山町に編入
	昭和29. 11. 5	城山町、石津村、下多度村が合併、南濃町を設置
養老町	昭和29. 11. 3	高田町、養老村、広幡村、上多度村、笠郷村、小畑村、多芸村、日吉村、池辺村(大字駒野新田、釜段字徳島を除く)合原村(室原)が合併、養老町を設置
	昭和30. 4. 1	南濃町若宮、船見、津屋(段ノ尻、中原、柏ノ木、小名、大墳、浮島、中島、上戸樋、北河原)を編入
上石津町	昭和30. 1. 15	牧田村、一之瀬村、多良村、時村が合併、上石津町を設置
	昭和44. 4. 1	町制を施行
関ヶ原町	昭和29. 9. 1	関ヶ原町、今須村、玉村、岩手村(伊吹字大高)が合併、関ヶ原町を設置
垂井町	昭和29. 9. 10	垂井町、宮代村、表佐村、府中村、岩手村、荒崎村(綾戸)が合併、垂井町を設置
	昭和29. 12. 1	合原村(栗原)を編入
神戸町	昭和25. 4. 1	北平野村(横井、田、安次、丈六道)を編入
	昭和29. 4. 1	神戸町、下宮村、南平野村{西保、南方、中沢、加納、四成(八条、和泉)}が合併、神戸町を設置
	昭和35. 4. 1	大野町大字西座倉を編入
輪之内町	昭和29. 4. 1	福東村、仁木村、大藪町が合併、輪之内町を設置
安八町	昭和30. 4. 1	名森村、結村、牧村が合併、安八町を設置
	昭和35. 4. 1	町制を施行
池田町	昭和25. 4. 1	北平野村大字白鳥を池田村に編入
	昭和25. 8. 1	本郷村、池田村が合併、温知村を設置
	昭和29. 5. 1	池田村に改称、同時に池田町を設置
	昭和30. 4. 1	池田町、宮地村、八幡村が合併、池田町を設置
	昭和31. 4. 1	南市橋を赤坂町へ編入
	昭和31. 9. 30	養基村(田中、粕ヶ原、沓井)を編入
大野町	昭和29. 4. 1	大野町、豊木村、富秋村、西郷村が合併、大野町を設置
	昭和31. 4. 1	鷺村を編入
	昭和35. 1. 1	川合村を編入
谷汲村	昭和31. 9. 1	谷汲村、長瀬村が合併、谷汲村を設置
	昭和35. 1. 1	横蔵村を編入

5 市町村廃置分合改称等の沿革(つづき)

市町村名	施行年月日	沿革
揖斐川町	昭和30. 4. 1	揖斐町、大和村、北方村、清水村、小島村が合併、揖斐川町を設置
	昭和31. 9. 30	養基村大字涇永を編入
	昭和43. 9. 1	春日村大字六合の一部を編入
本巣町	昭和25. 6. 1	文殊村、山添村が合併、本巣村を設置
	昭和31. 9. 30	本巣村、外山村が合併、本巣村を設置
	昭和35. 4. 1	町制を施行
巣南町	昭和29. 9. 20	船木村、鷺田村、川崎村が合併、巣南村を設置
	昭和39. 4. 1	町制を施行
穂積町	昭和29. 11. 3	穂積町、本田村、牛牧村、生津村(馬場、生津)が合併、穂積町を設置
	昭和32. 7. 1	巣南村大字宝江を編入
北方町	昭和30. 4. 1	北方町、生津村、(柱本、高屋)が合併、北方町を設置
	昭和31. 9. 30	席田村大字芝原、加茂を編入
真正町	昭和30. 4. 1	真桑村、弾正村が合併、真正村を設置
	昭和39. 4. 1	町制を施行
糸貫町	昭和30. 4. 1	土貴野村、一色村が合併、糸貫村を設置
	昭和31. 9. 30	席田村大字上保、郡府、北野、春近、石原、三橋、仏生寺を編入
	昭和35. 4. 1	町制を施行
高富町	昭和30. 4. 1	高富町、富岡村、梅原村、大桑村、桜尾村が合併、高富町を設置
美山町	昭和30. 4. 1	西武芸村、富波村、北武芸村、谷合村、葛原村、北山村、乾村が合併、美山村を設置
	昭和39. 4. 1	町制を施行
伊自良村	昭和30. 4. 1	下伊自良村、上伊自良村が合併、伊自良村を設置
武儀町	昭和30. 4. 1	下之保村、中之保村、富之保村が合併、武儀村を設置
	昭和30. 7. 10	舘市神野(字窪畑、土洞口、中戸洞口、井野木ヶ洞口、水ヶ洞口、井野上、駿上、風吹平四ツ水口、岩井戸)を編入
	昭和46. 4. 1	町制を施行
武芸川町	昭和31. 9. 29	東武芸村、南武芸村(大字小知野、八幡、高野、跡部、広見字川向、上野々)が合併、武芸村を設置
	昭和40. 4. 1	武芸川村と改称、同日町制を施行
美並村	昭和29. 11. 1	嵩田村、下川村が合併、美並村を設置
八幡町	昭和29. 12. 15	八幡町、川合村、相生村、口明方村、西和良村が合併、八幡町を設置
	昭和32. 4. 1	大和村有坂を編入
	昭和37. 4. 1	大和村島字下洞の一部を編入
大和村	昭和30. 3. 28	山田村、弥富村、西川村が合併、大和村を設置
白鳥町	昭和31. 4. 1	白鳥町、牛道村、北濃村が合併、白鳥町を設置
	昭和31. 10. 5	大和村大間見(七反田、向七反田、日枝洞)の一部を編入
	昭和33. 10. 15	福井県大野郡石徹白村の一部を編入
	昭和36. 4. 1	大和村大間見の一部を編入
明方村	昭和45. 4. 20	奥明方村を改称
坂祝町	昭和43. 10. 1	町制を施行

5 市町村廃置分合改称等の沿革 (つづき)

市町村名	施行年月日	沿革
白川町	昭和28. 4. 1 昭和29. 4. 1 昭和31. 9. 30	町制を施行 坂ノ東村を編入 白川町、蘇原村、佐見村、黒川村が合併、白川町を設置
川辺町	昭和29. 4. 1 昭和30. 4. 1 昭和31. 9. 30	三和村大字鹿塩を編入 川辺町、上米田村が合併、川辺町を設置 下麻生町大字下麻生を編入
八百津町	昭和30. 1. 31 昭和30. 2. 1 昭和30. 3. 25 昭和31. 9. 30	和知村を編入 八百津町、錦津村が合併、八百津町を設置 美濃加茂市大字牧野(東宮前、東中国、道下)を編入 潮南村、福地村、久田見村を編入
富加村	昭和29. 7. 1	富田村、加治田村が合併、富加村を設置
七宗町	昭和30. 2. 11 昭和31. 9. 30 昭和46. 4. 1	上麻生村、神淵村が合併、七宗町を設置 下麻生町大字中麻生を編入 町制を施行
御嵩町	昭和30. 2. 1 昭和32. 4. 1	御嵩町、上之瀬村、中町、伏見町が合併、御嵩町を設置 土岐市泉町定林寺字次月を編入
可児町	昭和30. 2. 1 昭和30. 4. 1 昭和35. 4. 1	今渡町、土田村、帷子村、春里村、久々利村、平牧村、広見町が合併、可児町を設置 御嵩町大字中恵土を編入 姫治村〔谷迫間、今、下切(国京、白山を除く)〕を編入
笠原町	昭和26. 4. 1 昭和27. 4. 1 昭和27. 8. 1	笠原町を廃し、多治見市へ編入 多治見市笠原町(滝呂地区を除く)を分離し、笠原村を設置 町制を施行
明智町	昭和29. 7. 1 昭和30. 4. 1 昭和30. 10. 5	明知町、静波村が合併、明智町を設置 三濃村大字横通を編入 吉田村を編入
岩村町	昭和29. 9. 10	岩村町、本郷村が合併、岩村町を設置
山岡町	昭和30. 3. 1	遠山村、鶴岡村が合併、山岡町を設置
上矢作町	昭和31. 9. 30	上村、下原田村が合併、上矢作町を設置
福岡町	昭和41. 4. 1 昭和43. 4. 1	町制を施行 中津川市苗木字向並松を編入
金山町	昭和30. 3. 1 昭和30. 4. 1	金山町、菅田町、下原村、東村が合併、金山町を設置 白川町大字田島を編入
下呂町	昭和30. 4. 1	下呂町、竹原村、上原村、中原村が合併、下呂町を設置
萩原町	昭和31. 8. 25	萩原町、川西村、山之口村が合併、萩原町を設置
久々野町	昭和29. 4. 1	町制を施行
神岡町	昭和25. 6. 10	船津町、阿曾布村、袖川村が合併、神岡町を設置
古川町	昭和31. 4. 1	古川町、細江村が合併、古川町を設置
国府町	昭和39. 11. 3	町制を施行
宮川村	昭和31. 9. 30	坂上村、坂下村が合併、宮川村を設置